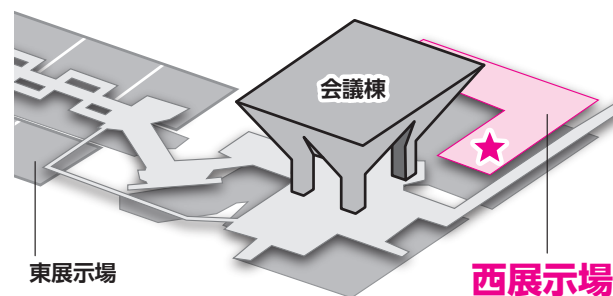


資源もコストも ムダにしない

What Packaging
Can Do to Achieve
Carbon Neutrality by 2050

北四国グラフィア印刷
展示会出展のご案内

——— 世界最大級の食品製造総合展 ———
FOOMA JAPAN 2026
FOOD PROCESSING TECHNOLOGY EXPO
6/2 火 **5** 金 10:00 ~ 17:00 東京ビッグサイト



■ 当社ブースマップ

西2ホール 03-16

■ 入場について

事前登録が必須です。同封の資料よりクイックパス(入場証)のご取得をお願いいたします。

■ お問い合わせ

当社各担当営業までお問い合わせください。

FOCUS 01

資材使用量を究極におさえた「スリムるフィルム（乳白OPP）」

白インキが不要、使用量を大幅削減

通常、白ベタ印刷が必要なパッケージでは、白インキがインキ使用量の大半を占めます。乳白フィルムなら基材自体が白いため、白インキを省略でき、インキと溶剤を半分近く削減することが可能です。



プラスチック使用量の25%削減

同じ厚みでも発泡構造により、約25%のプラスチック使用量を低減できます。石油資源の節約と軽量化を同時に実現することが可能です。

組合せて
さらに
省資源化!

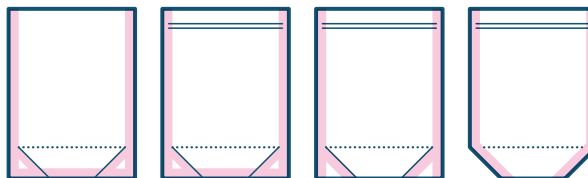
ノンソルベントラミネートの併用

乳白フィルムに加えて、溶剤を使用しないノンソルベントラミネートに切り替えることで、**溶剤（酢酸エチル）をゼロにする**とともに、**接着剤塗工量も抑えられます**。さらに、乾燥工程が不要なためエネルギーを削減でき**CO2排出も抑えられます**。残留溶剤の心配がなく、食品の安全性も高まるというメリットがあります。

FOCUS 02

フィルム使用量の削減「ワンピースパウチ」

底にマチのあるタイプの袋は、底材のためにスリット用のフィルム巾を確保する必要がありました。ワンピースパウチではおもて面・底材・うら面がつながったままの状態で製袋できるため、フィルム巾を最大40mm削減できます。



チャックなし チャックあり 底フラット 底三角カット

袋形状一覧

FOCUS 03

透明かつ単層フィルムでも印字可能「レーザー印字フィルム」

UVレーザー印字では、使用できるフィルムに制限があり、乳白フィルムや白インキを使用した多層フィルムであることが求められていました。当社では、透明かつ単層でもUVレーザー印字に対応できるフィルムを開発しました。インクリボン使用時と比較するとトータルコストダウンが図れます。



株式会社北四国グラビア印刷

■本社

〒768-0052 香川県観音寺市粟井町755番地
TEL: 0875-27-9280 FAX: 0875-27-9380

■東京営業所

〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-9-13Biz-ark浅草橋駅前5階
TEL: 03-6682-3005 FAX: 03-6682-3006



HP



Instagram



X



WEBメディア
あらいひかり